

びふか

議

会

です
こんにちは

2006 / 7

第58号

この議会広報誌は再生紙を使用しています



天空の松山湿原を散策

第2回定例会概要 18年度一般会計補正予算他

一般質問～7議員

森口元議員に旭日単光章、諸岡議員・倉兼議員に自治功労賞

議員投稿～今泉議員

私からのメッセージ 小野寺憲子さん 石川 孝さん

基金枠の拡大を！！

基金の限度額 3 億 5 千万円を廃止

補正予算

平成18年第2回定例会は、6月20日から23日の4日間の会期で開催。一般会計補正予算、美深町財政調整基金条例の一部改正、美深町国民健康保険税条例の一部改正など7件の議案審議。
また、請願2件が委員会に付託され、意見書3件が採択。
一般質問は7議員が、町政執行について町の考え方を質した。

▽平成18年度美深町一般会計

1、256万4千円を追加し、総額42億2、287万3千円とした。

(補正の主な内容)

- ・地籍成果管理システムサーバ借上料
- ・簡易水道事業特別会計繰出金
- ・農地地図情報管理システム導入業務委託料
- ・国道40号歩道街路灯移設工事請負費
- ・豊かな体験活動推進事業交付金
- ・伝承遊学館屋根修繕工事請負費
- ・スポーツ指導員謝金
- ・スポーツリーダー養成研修事業委託料
- ・トランポリン器具購入
- 質問 農地地図情報管理システムの導入の経緯・内容・

導入の効果と地籍成果管理システムサーバは、リースより買取りが良いのでは。
総務課長 農地情報利用効率化対策事業430万円の補助を受け、7年経過の機種を更新、保守管理体制サポートを充実。

買取りは、サポート体制が不安であるため5年間のリースとした。

産業施設課長 委託業務の内容は総合GISにおける地図データを、農地情報と連動させるシステムの導入。

このことにより、土地情報と住基データの更新情報が速やかに把握できるようになる。

質問 農地の賃貸・売買にどう役立てるのか。
産業施設課長 農業委員会の農地などの情報が連動され、土地情報、住基データの更新が把握でき、土地改良事業の管理・作付け管理・

農業振興地域の管理・森林情報・上下水道・家屋管理ができ効率的な事務処理が可能となる。

質問 スポーツリーダー養成研修事業で派遣の期間・時期・養成者の推薦は。
選手育成時に怪我・事故の保障は。

スポーツ指導員謝金の内容は。
教育グループ主幹 福島県猪苗代町のウォータージャンプに2泊3日で指導者3人選手2人を派遣、事故・怪我等は保険で対応。

指導員は12月末から3月までの期間、SAJ(全日本スキー連盟)から派遣を受ける。

質問 国道40号の歩道改修に向けて住民の意見を聞く会をもたれたが決定の報告は。

施設グループ主幹 国道40号美深町市街地歩道づくり

▽平成18年度美深町簡易水道事業特別会計

94万5千円を追加し総額を4、214万7千円とした。

昭和62年に新設した投込圧力式水位計の修繕。

懇話会が最終2月自治会、商店会、6線〜9線までの住民説明協議をしたが、一部説明不足を7月中旬頃開発局と併せ行う。
(質問者 岩崎・倉兼・南・藤守・林議員)



合併構想案の説明を受ける

基金枠の拡大を図った

▽美深町財政調整基金条例の一部改正

現行条例は、毎年財政状況に応じた積み立てをするもので基金総額3億5、000万円の限度額としていた。

改正後は、基金限度額を廃止し決算剰余金が生じたときのみ積立てる。

質問 基金残高は5月末で2億4、500万円であり17年度繰越金9、900万円を積み立てるには支障がないのでは。

助役 現在1億円の繰替え運用をしているが、今後決



有料のパークゴルフ場

算剰余金が発生したとき積立てる制度にした。

(質問者 林議員)

国民健康保険税が増額

▽美深町国民健康保険条例の一部改正

年金等控除額が縮小。

質問 税額はどう変わるか。

税務グループ主幹 今回の改正により、年金等控除額が140万円から120万円に縮小するため増額となるが、急激な負担増とならないよう、18年度1万2千円、19年度6、200円を

税額から控除する経過措置を設けた。

(質問者 倉兼議員)

地域利用者の利便性を図る

▽森林公園びふかアイランド条例の一部改正

森林公園内のパークゴルフ場利用料金にシーズン券(2、500円)を新設し利用者の利便性を図る。

質問 町内のパークゴルフ場と共有できる券の発行の考えはないか。

温泉宿泊者に対する優遇措置があるのか。

今あるパークゴルフ場には有料と無料があるが、不公平感があるのではないか。

助役 共通券は、それぞれの施設が指定管理者制度に移行したばかりなので今後の課題としたい。

宿泊者に対する優遇措置は指定管理者の裁量で実施できる。

COM100パークゴルフ場は、都市公園内の施設であり料金設定は出来ない。

(質問者 倉兼・越智・菅野・藤守議員)



無料のパークゴルフ場

▽名寄地区障害程度区分認定審査会の共同設置

障害者自立支援法に基づき入所施設等サービス利用者は障害程度区分の認定を受けることになる。

今回5市町村共同で審査業務を進める。

質問 共同設置のメリット、委員構成、予算の負担割合、名寄市に事務所を設置した経緯は。

保健福祉グループ主幹 委員構成は障害者福祉に精通した人を名寄市3名、美深町1名、下川町1名で構成。負担金は均等割り50%、認定を受ける障害者の人数割り50%で、名寄市の会計で運用する。

助役 精神・知的・身体障害の認定作業で専門知識を持った人材が不足であり共同とした。

予算や規約変更等は各市町村議会にかかるとする。

町長 行政コストを下げる事が一番の目的とし、事務所の設置は人口が多い名寄市とした。

(質問者 齊藤・南・藤守・林・倉兼議員)

第2回臨時会

5月9日開会

▽17年度美深町老人保健特別会計補正予算の専決処分

医療費の増加により、医療給付費の不足が生じ、不足分の234万8、000円を追加。

▽美深町税条例の一部改正

国の三位一体改革の一環として3兆円規模の税源移譲。所得税の定率減税の廃止、土地家屋に係る固定資産税の見直し等、地方税法の改正を受け本条例の一部を改正。

質問 町民負担増はないとのことだが、所得税の定率減税の廃止により増えるのでは。

税務グループ主幹 今回の税改正では所得税・住民税を合わせると総体的には変わらない。

(質問者 倉兼・菅野・今泉・林・藤守議員)

質 問



今泉 議員

質問事項

- 1 市町村合併の方向性について
- 2 高齢者福祉施設整備について

住民に情報提供を

質問 合併新法に基づく知事の市町村合併構想案が公表されたが、新法は平成21年度までの時限立法であることを踏まえ、住民に情報提供する中で方向性を検討すべきでは。

説明会を開きたい

町長 以前から新法のことば説明しているが、道から示された構想案の確定を待って、合併期限にこだわらず、地域連絡員を通じて説明会を開き、住民に趣旨を説明しながらどういう方向でやるかを検討しなければならぬと思う。

高齢者生活福祉

センターの整備を

質問 少子高齢化社会をむかえ、高齢者が健全で生き生きとした社会生活を送っていただくため、施設等の整備を提言したい。

現在、本町には高齢者生活福祉施設として福祉寮、

老人憩の家等が建設され多くの方に利用されているが、老朽化・狭隘等により施設の整備が必要とされている。この際、これらの施設を包含した高齢者生活福祉センター的施設を整備する考えは。

必要性は認める

町長 高齢者が安心して暮らせるためには、提言の施設があれば健康管理面から

も必要性は認める。

施設の性格は違うがケアハウス、グループホームが出来たこと、更に財政状況が厳しくなってきた等を踏まえ、直ちにということにはならない。

総合計画の中においても十分に時間をかけて検討し無駄な投資にならない方法を考えていきたい。

地域医療の充実を

どう図る

質問 美深厚生病院はJ A北海道厚生連運営ではあるが、どの程度まで町は踏み込んで協議が出来るのか。

医療改正を見極め

町長 病院改築時に将来のあるべき姿を検討してきた。

その範囲で意見を出す事は出来るが、計画の無い要望は、やれと言うことにならないのではないかと。



32年経過した老人憩の家

質問 先般、政務調査で家庭医導入で成果を挙げている人口3、700人の寿都町に行ってきた。

寿都町では、道立病院の撤退により町立診療所に移行し、家庭医（プライマリケア・総合診療）3人が常駐している。医師も家庭医研修センターの医療法人との契約により確保し、独自の信頼を取り戻し地域に根ざした医療を築こうとしている。

専門医対応の広域連携も確立している。診療科目も、家庭医で内

質問事項

- 1 食育推進計画について
- 2 地域医療体制について
- 3 農用地対策について



倉兼 議員

般



村山 議員

質問事項

1 エアリアル選手の育成と施設整備について

エアリアル選手育成と施設整備は

質問 全国的にみても数少ないエアリアル競技の選手育成に、力を入れることとなった。

きびしい財政状況の中で、施設造成に2、200万円の予算を計上したが肝心な選手の育成の計画は。

町の観光、活性化に向けて成功させるべき冬季の競技であるが、冬場になってからの練習では期間が短く上達が進まないで、夏場から練習の出来る施設が必要と思う。

簡易的なウォータージャンプ施設のために、町民参加の青少年スポーツ基金の創設は考えられないか。

道内外の

施設を利用

教育長 予算どおり工事発注に向け準備を進めている。

何よりも選手育成には、指導者の確保と育成が必要であり、財団法人地域活性化センターの助成を受け、指導者の確保と育成事業に



医療拠点の厚生病院

予算計上した。

夏場の練習施設には大きな課題があり、プールを備えたジャンプ台で安全性衛生面等を備えていなければならぬ。

当面トランポリンや体操等の基礎的トレーニングを中心に行い、ウォータージャンプ等の特別強化のトレーニングは、道内外の施設を利用して対応したい。

スポーツ基金の提案については、行政だけでなく一般市民の協力をいただければありがたい。



整備が待たれるエアリアルコース

科・外科・小児科、委託医(週1回)で産婦人科と精神科の5科となっている。患者数は、道立病院時の2倍、赤字額は半分と経営面も改善されている。

まち医者のシステムと察するが、注目すべきことは運営面の改善と併せ、小児科の診療があることにより、人口対策にも効果があるのではないか。

町長 寿都町診療所における家庭医診療について、今回資料で知った。

厚生病院の話によると、

今回の医療費制度改正では療養型病床と一般病床の両方を運営する事にはならぬのではとのこと。

このままでは、現在出ている数千万円の赤字が、2億円近くになることが予想され、2分の1を町財政負担の計画からして、赤字を少なくする方策を検討しなければならぬ。

住民の意向を聞き、不安を与えないよう研究していきたい。

質 問



林 議 員

質問事項

- 1 指定管理者制度における町の責任度合、町の関与度について。
- 2 見苦しい8線通りの荒廃建物の整理、撤去について。
- 3 観光行政と観光協会のあり方について。

町の責任度合、関与度は

質問 行政改革による経費削減で、公の施設の管理運営を業者等に委託となった。予定額を絞られ、結果的に低い落札額、そんななかでの住民サービスの向上を図らねばならない。

安全な業務遂行に徹する事と思うが、万が一にも事故、事件等が発生した時の責任度合、また、経費節約によるサービス低下と思われる兆しを感じられた時の行政の関与度は。

まずは指定管理者が

町長 指定管理者が第一的な責任となる。業務中の故意又は、過失により第三者に損害を与えた時は、指定管理者の賠償が原則である。

業務に関する管理であるが、いかに効率的に運用するか、民間のノウハウを發揮してもらうのが基本である。

荒廃建物

整理・撤去を

質問 町民の憩いの場として親しまれている八線通りの一部空き店舗の荒廃は、夜のなごやかな町並みとしてとても見苦しく、火災の危険性もあり、近所の人々にはたまらない迷惑である。

行政の裁量をもって整理すべきではないだろうか。

改善を指導した

町長 町民の方からも、なんとかしないと駄目だとの申し出があった。

基本的には建物の占有者、管理者及び保有者が法的に周囲を清潔に保全するように努めなければならぬ。

直ちに文書をもって、課長名で所有者に対して改善をするよう指導している。



齊 藤 議 員

質問事項

- 1 合併推進構想について

合併の行方は

質問 合併新法に基づき道が、合併推進構想原案を公表した。これに対して町村会が知事に町村の意向を反映する事と自主性を尊重するよう要請したと報道されたが、その内容はどのようなものか。

組み合わせを見ると我が町は名寄市、下川町、音威子府村、中川町の5市町村のなかに入っているが、そ

広域連合を模索

町長 町村会として市町村合併をいかなる形であっても強制する事無く、町村合併を意図する地方交付税算定の見直しを行わないこと。

道内において合併になじみにくい地域については、町村会が提言した広域連合



環境整備が待たれる商店街

般



南 議 員

質問事項
1 商工業振興策について

どうする

中心市街地

質問 まちの顔としての中心市街地の衰退は町並みに活気が見られない象徴である。わが町における中心市街地活性化事業基本計画の今後の取り組み姿勢は。

情勢を見ながら

町長 中心市街地の整備は行政が行なうことと民間が行なうことに分けられ、民間が行なうことはTMOを設置しながら具体案を検討することであったが、景気の低迷、近郊に大型店舗等ができて将来への不安もありTMOの設置は当面凍結となっている。

今、美深・音威子府・中川の商工会が将来の合併を前提に広域連携に取り組んでいる状況も見極めなければならぬ。商工業界には将来を見据えた事業を決め、体制を整えてもらったうえで行政として最大の支援をしたい。



自立議論が交わされる

継続の考えは

質問 個店近代化事業は本年度までの時限条例であるが、これまで商工業界活性化に大きく貢献してきた。対象範囲を広げれば、需要はあるはず、形を変えてでも継続すべきでは。

を拡大した連合自治体の創設と制度の支援策を検討するよう要望している。
新聞報道を見ると今の合併をいかに進めるかという事が最大重要案件でないかと思っている。

心配される交付税

再質問 当面単独で進む方向で行財政改革を進めているが、これ以上地方交付税等の減額が進めば、今後単独で進んでいく事が危惧

検討は当然

町長 5年の時限条例で財政が苦しくて失効するわけではない。
商工業界だけでなく他の業界も苦しい状態、中心市街地だけでなく町並みをきれいにするには更に別の感覚で検討する必要がある、商工事業者との協議で検討したい。

されないか。

がまんも必要

町長 合併は合併として想定しながら、徹底した行財政改革、住民負担の適正化を行ない単独で行く場合には我慢も必要だと住民に説明しなければならぬ。



どうする中心市街地

一 般 質 問



岩崎 議員

質問事項

- 1 住民参加による新しい公共交通の組み立ては
- 2 温泉の撤退は考えていないか
- 3 行政評価は、外からして本物

公共交通の考えは

質問 住民参加による新しい公共交通の組み立てについて、内部検討の進み具合は。

研究会で問題整理

町長 事務段階でどういう問題を整理しなければならぬか研究の最中。

行政と議会側の接点を合わせることでいい考え方が出てくるのではないかと。

再質問 一步も二歩も前進したのではないかと思うが、従来の行政の進め方から協働の手法に変えてみるという考えはないか。

町長 この問題は行政主導で進めるのではなく、利用する住民の意思や要望を反映しながら検討していく必要がある課題と思う。

温泉のあり方検討を

質問 上川北部に限らず、全道どこでも温泉施設の無い町村はないが、市町村合

併等、今後を考えると、どこかの時点で撤退ということとを視野に入れて公共施設のあり方、温泉のあり方について、考える必要があると思うが。

温泉は観光の拠点

町長 美深町の観光の目玉であり、充実こそすれ撤退

議員投稿

「平成の大合併」の波をのり越え、自立のまちづくりを進めて2年目を迎えたが、国は既に合併新法を作り平成21年度までに、更に合併を推進しようとしている。



今泉 議員

自立のまちづくりのゆくえは

今度の推進方法は前回と違って、指導機関を都道府県に任せている点にある。道は去る6月2日に道内180市町村を59に再編する「市町村合併推進構想」案を公表した。

内容は、住民の日常生活

は今のところ考えていない。美深町の将来を考えると、美深アイランド全体が若干赤字になっても、町民の雇用などで、アイランド施設は十分に町の活性化に役立っているという自信を持っている。

うなるのか？ 気になるのは第27次地方制度調査会の答申で「合併困難な市町村は組織機構を簡素化した上で、法令による義務づけのない自治事務は一般的に処理するが、通常の基礎自治

体には法令上義務づけられた事務については窓口サービス等その一部のみを処理し、都道府県にそれ以外の事務の処理を義務づける特例的団体の制度の導入についても引き続き検討する必要がある。この場合において、

都道府県は当該事務を自ら処理することとするほか、近隣の基礎自治体には委託すること等も考えられる。」という内容が示されている。



公共交通の勉強会

請 願 意 見 書

請願く採択

▽2007年度政府予算編成における義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率二分の一復元を求める請願書
▽教育基本法の改正について慎重審議を求める請願書
請願者 美深地区連合会
会長 大塚 智史
紹介議員 小田中 道雄

意見書を提出

▽道路整備に関する意見書
道路は、道民生活や経済・社会活動を支える基礎的の基盤であり、北海道の道路網の整備は、道民が長年、熱望してきたがいまだ十分とはいえない、道内の圏域間の「交流・連携強化・地域経済・食料供給基地」等の活性化などを図る上でも、

元議員森口純雄氏に高齢者叙勲



昭和54年から4期16年の永きにわたる議員活動の功績が讃えられ、この程、高齢者叙勲「旭日単光章」を受章された。

国においては北海道の道路整備の実情を踏まえた上早期に整備が図られるよう強く要望する。

提出者 今泉議員

賛成者 藤守・菅野議員

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・

総務大臣・財務大臣・国土交通大臣

交通大臣

▽2007年度政府予算編成における義務教育費国庫負担制度の堅持と負担率二分の一復元を求める意見書

義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等と義務教育無償の原則とし憲法26条・教育基本法3条にもと

づき、子供たちが等しく教

諸岡議員・倉兼議員に自治功労表彰



全道町村議長会から長年(15年以上)にわたり議会活動に寄与されたとして諸岡議員、倉兼議員に対して自治功労者の表彰があり、6月20日の定例会で議長から2議員に表彰状が伝達された。

育を受けることができるよう制定されたものです。

国の責任である教育水準の最低保証を担保し必要不可欠な、義務教育費国庫負担

制度を堅持し二分の一負担への復元を強く要望する。

提出者 菅野議員

賛成者 齊藤・諸岡・小田中議員

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科

学大臣

▽教育基本法の改正について慎重審議を求める意見書

教育基本法は「民主的・文化的」な国家の建設や世界平和を目指すとした憲法

の理念を実現するために制定されたものであり、子どもたちが社会を担う市民として育つことを願ったものです。

「改正」に関する検討は、国民的広範な議論を前提に十分な時間をかけて行うべきであり、教育基本法の国家主義的な改正が行われることのないよう、慎重な議論を強く要望する。

提出者 菅野議員

賛成者 齊藤・諸岡・小田中議員

提出先 衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・文部科

学大臣

学大臣

閉会中の 委員会活動レポート

期間 自 平成18年4月
至 平成18年6月

総務常任委員会(藤守・倉兼・越智・岩崎)

▽調査事項

○OA化の取り組みによる状況

①事務事業の効率化の実績について

②今後の維持管理費の見通しについて

▽調査内容

●現在プリンターと複合機が共存しているが経費面と今後の取り組み。

●現在のパソコン台数と今後の入れ替えについて。

●広域行政が進む中でのネットワーク等は十分対応できるか。

●行政は対人間との対話からであるが人事面での教育は。

▽調査のまとめ

現状のパソコン及びプリンター等は計画的に更新しているが、旧バージョンの更新やシステムの更新等が現在の事務や事業とマッチしていない分野が見受けられる。

更新時に対するリース価格と買取価格の見直しをすることにより更新がスムーズ

ズに実施できるのではないかと検討を要する。

行政事務が機械化となり、職員対職員・住民対職員の対話等のコミュニケーションが欠如のきらいがあり一考を要する。

○OA事業の遂行のために毎年多額の経費が積み込まれているがOA機器専門職員導入により、経費の節減及び行政事務の一層の向上につながるのではないかと検討を要する。



委員会活動

▽調査事項

所管の表彰関係条例と協議会等の実態

①名誉町民・表彰条例の実態

▽調査内容

●名誉町民条例は町と深い関係にある者で社会文化の興隆や発展に寄与し、町民の誇りとするところがあるが、芸能人・学者・スポーツ選手等の町出身の広い範囲での人材の発掘をし、審査が行われているか。

●美深町文化功績賞条例があるが、今日までの審査経緯はあるのか。

●教育委員会が所管となっ

ている文化賞・スポーツ賞も他の功労賞と同時に表彰すべきではないか。

●町民の弔意にたいする規定はあるのか。

▽調査のまとめ

表彰条例は、町民がさまざまな分野で町の振興に寄与した功績に対し賞を贈るための条例である。

過去の表彰歴を調査したところ、条例の目的に基づいた施行がなされていない条例が見受けられるので再考の余地あり。

社会文教常任委員会(菅野・齊藤・酒井・諸岡・小田中)

▽調査事項

①学校施設整備について

②北海道教育大学との相互協力について

③幼保一元化について

▽調査内容

●美深小中学校の現状は、施設・設備等の老朽化により、寒い・暗いなど教育環境に不適、さらに老朽化に伴い暖房設備・建物の維持補修費等にも多額にかかる状況、また「総合的学習・情報化」や耐震性に対して

の対応ができない状況のため早急に改修・改築に取り組んでいく。

●教育大学の相互協力の進め方については、大学との交流を通して地域住民のスポーツに対する理解・親しみを通し活性化も促されさらに総合型地域スポーツに専門的教員の「指導・助言」をいただき、エアリアルをはじめスポーツ振興を中心とした文化活動の堅守を推進していきたい。



一元化が待たれる幼稚園(左)、保育所(右)

●幼稚園・保育所の一元化の考え方については、既存の施設をつないで運営を行う、また保育の実践としては0歳児～3歳児を対象の保育部・4歳児～5歳児対象の幼稚園、年齢に応じた教育の保育に取り組む一元化については、平成20年4月1日より開設の予定で進めたい。

▽調査のまとめ

●学校施設整備については、スケジュール的には大変厳しいが、方向性を見極め進めるべき、また基本計画の全体像については速やかに提示し説明をすること。
●大学との今後の対応としては指導等も大事だが、滞

在型の実習ができる受け入れ施設の対応も必要と思われる。

●幼保一元化については、

産業建設常任委員会(今泉・村山・宮岡・林・南)

▽調査事項

- 1 観光対策について
- 2 林業対策について

▽観光対策の調査内容

① 森林公園びふかアイランド関係では、利用者ニーズに対応するため、本年度びふか温泉客室の改修工事を行うほか、物産展示館「双子座館」・道の駅「びふか」来館者のトイレ使用混雑解消のため、男女トイレの改修工事施工中。

② 恩穂山は森林公園びふかアイランド西側エリアを農村公園として、工事費61、502千円かけ平成8年度に整備された。

③ 観光資源活用への支援については、平成17年度に北海道遺産に指定された天塩川をはじめ、びふか松山湿原、函岳の景観、トロッコによる「走る森林浴」の魅力等売り込みを行う他、観

平成20年度開設で進んでいく多くの課題もあり、今後の方向性を踏まえ全体的な見直しが必要と思う。

光事業の推進体制などについて観光協会と協議検討することになった。

▽調査のまとめ

近年の観光は、家族や小グループによる日常の希求や自然の魅力を取り込んだ体験型観光が好まれる傾向にあることを踏まえ、アイ

ランド一带を主軸とする美深地域内の観光地を線で結ぶ観光ルートを模索する必要がある。

また、森林公園びふかアイランド西側エリアの恩穂山一带は、多額な公費を費やし整備しているが、観光客等利用者は殆どなくその成果は見られない、その方を検討すべきである。

▽林業対策の調査内容

林業に対する行政の姿勢は、森林に対する社会的要請が国土保全や水源涵養、地球温暖化の防止など多面的機能の維持的な発揮が求

められていることを踏まえ、森づくり推進事業として民有林整備、山林整備事業等に支援している。



観光客を待つ恩穂山

全道議員研修会が、6月30日帯広市の市民文化ホールで開催された。

この研修会は、毎年1回開催されるもので一昨年は、道内3会場(函館市・札幌市・弟子屈町)で行われたが、今年は2会場(札幌市・帯広市)、次回は1会場(札幌市)となる。



その理由は、市町村合併が進む中で平成16年4月時点では178町村2,617人だった議員数が、今年4月には145町村2,221人に、来年の統一地方選挙後は、議員定数見直しが進んでさらに減少する事からのようだ。

今年の研修内容は、(財)地方自治総合研究所・主任研究員の辻山幸宣氏が、「地方自治の現状と将来について」・元代議士で経済企画庁長官を務めたテレビにも出演している田中秀征氏が、「政界の裏話を含めた政局展望」を、表題に自治課題の講演を受けた。置かれている環境の厳しい町村自治の参考になればと思ったが、少し視点がぼけた事に不満を感じたのは、小生一人だけかな。

往復の車窓からは、例年に無く残雪の多い大雪連邦の山並みが見えた。

平地では牧草収穫の真最中、麦類を除く畑作物は少し遅れ気味、特に豆類の生育が悪いと感じる。

気温の低い今年の天候の影響だろう。

私からのひとこと



第2町内会

石川 孝

この度は図らずも私達ボランティアいぶきの会が国土交通大臣表彰を受賞することが出来ました。花と緑の愛護に著しい功績があったとしての受賞ですが、推薦をいただいた美深町をはじめ関係機関の皆様は御礼申し上げます。早速会員仲間で喜びを分かち合ったところです。「花」は美しく、人の心を和ませてくれますが、と

同時に語りかけてもくれます。最初は数百本の花から始まり、今では1万本を超える数の花が町内のいたるところの花壇整備をしてきました。又、孫のような小学生や高校生との交流もあり、生き甲斐を感じながら会員一同、一生懸命頑張っている今日この頃です。



新生町内会

小野寺 憲子

今年の春には長男が結婚、次男・長女が就職し社会人と成り一息ついたところでもあります。子供たちの成長は嬉しくもあり離れていく寂しさもあり複雑な気持ちです。そんな中、春より夏に向けて種から花作りを楽しみ、毎日花を眺めています。仕事を通して商工会女性部に参加させていただき10年余りが経ちボランティア活動をはじめ花壇作り、松山の集い、夏まつり、特別

養護老人ホーム慰問、また、交通安全マスコット作りは先輩方の実績を引き継ぎ続ける事により美深地区地域安全推進協議会連合会より表彰を受けました。これらの活動を通し部員交流とおしゃべりなど多くの人達と接し語り合い、癒されたり、楽しんだり町外研修にも多く参加し勉強させていただき嬉しく思います。

今年には女性部40周年の記念事業として町民にエコバッグ(買い物袋)の無料配布を計画しているところです。多くの部員の協力に助けられてがんばっている日々です。女性部を通して町政にも、もっと目を向け議会を傍聴したいと思えます。これからは、自分の趣味などにも少し時間を取り、そして、夫婦で健康でありたいと思っています。

日々おもしろごと

女性部を通して町政にも、もっと目を向け議会を傍聴したいと思えます。

編集後記

日照不足で、稲作の生育が心配されながらも、長期予報に期待したい昨今。「議会ですこんにちは」

第58号編集のため、広報特別委員会が6月20日・7月6日・7月10日・11日・19日の6日間、なれないパソコンを操作、時にはパニック状態になりながらも議会活動の生の姿をお伝えしようと試行錯誤。

これからも、みなさんに読まれる情報誌に努めたいのでご意見ください。



広報委員会